

都市再生整備計画 事後評価シート  
木田駅周辺地区

平成26年2月

愛知県あま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	あま市	地区名	木田駅周辺地区			面積	77.7ha
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	1,685.8百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ・道路(市道木田164号線整備、市道木田44号線改良整備、市道木田47号線改良整備、市道木田52号線改良整備、市道木田53号線改良整備) ・地域生活基盤設備(自転車駐車場:木田駅前駐輪場整備、地域防災施設:地下式調整池整備)						
		提案事業	・地域創造支援事業(安全安心施設事業:木田駅周辺地区) ・まちづくり活動推進事業(防犯活動推進事業:木田地区)						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—	削除/追加の理由		—			
		提案事業	—	—		—			
	新たに追加した事業	基幹事業	・市道木田49・50号線改良整備	・他路線との調整や地域住民の意向を踏まえ、交通安全性の向上、円滑な排水処理のために追加		駅の利便性に対する満足度、災害に対する不安の改善度に関係するが、数値目標は据え置く。			
提案事業		・事業活用調査(事後評価分析業務)	・事後評価に必要な資料作成を追加		—				
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—				
	変更	—	—		—				

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	駅の利便性に対する満足度	ポイント	1.9	H20	2.3	H25	3.11	○	あり	木田駅の南改札口が開設され、それに合わせて駅前ロータリー、市道等が整備されたことにより、満足度が高まったと考えられる。	なし
指標2	災害に対する不安の改善度	ポイント	1.8	H20	2.3	H25	2.80	○	あり	市道の改良工事に伴い、側溝等が整備され、水はけがよくなったこと及びゲリラ豪雨時に地下式調整池が稼働したこと等のPR等により災害に対する不安が軽減されたと考えられる。	なし
指標3	まちづくり活動参加人数	人/年	42	H20 9/19 現在	100	H25	109 (H24)	○	あり	まちづくり協議会をワークショップ方式で行うことにより参加意識が高まったこと及び地区内の工事の進捗を直接目で確認できる機会を設けたことにより、まちづくり活動の参加者が確保されたものとする。	なし

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	—	—	—	—	—	—	—	—	あり	—	—
その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	なし	—	—

4) 定性的な効果発現状況	・アンケートの自由記述に、駅周辺整備に対して「利用しやすくなった」等の記述があり、駅利用に対して良好な評価を得ている。
---------------	---

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	—
	住民参加プロセス	市民主体のまちづくり協議会を設立し、地区内の工事の進捗状況の確認やワークショップによる防犯活動の検討などを実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>
	持続的なまちづくり体制の構築	駅前広場の植栽等の管理について、地元で行えるような体制の構築。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>

様式2-2 地区の概要

木田駅周辺地区(愛知県あま市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
災害に強い、安全・安心な駅周辺まちづくり	駅の利便性に対する満足度	単位:ポイント	1.9	H20	2.3	H25	3.11	H25
	災害に対する不安の改善度	単位:ポイント	1.8	H20	2.3	H25	2.80	H25
	まちづくり活動参加人数	単位:人/年	42	H20	100	H25	109	H24

あま市役所本庁舎

名鉄津島線

名鉄木田駅

木田郷西公園

北村木田線(2車線)

0 500m

1:10,000

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

■ 提案事業 地域創造支援事業  
 安全・安心設備事業  
 木田駅周辺地区

□ 提案事業 まちづくり活動推進事業  
 防犯活動推進事業  
 木田地区

□ 提案事業 事業活用調査事業  
 事後評価分析業務  
 木田地区

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田47号線改良整備事業  
 L=200m

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田49号線改良整備事業  
 L=85m

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田50号線改良整備事業  
 L=42m

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田44号線改良整備事業  
 L=200m

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田164号線 L=166m, W=20m  
 (駅前広場A=2700㎡含む)  
 (ポケットパークA=470㎡含む)

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田52号線改良整備事業  
 L=190m

■ 基幹事業  
 地域生活基盤施設(自転車駐車場)  
 木田駅前駐輪場整備事業A=641㎡

○ 関連事業  
 緊急農地防災事業

■ 基幹事業  
 地域生活基盤施設(地域防災施設)  
 地下式調整池整備V=2900㎡

■ 基幹事業  
 道路  
 市道木田53号線改良整備事業  
 L=140m

■ 市道木田164号線(駅南広場)の整備  
 ■ 駅前駐輪場の整備  
 ■ 安全・安心施設事業  
 ■ 防犯活動推進事業

■ 市道木田164号線の整備  
 ■ 地下式調整池の整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道木田164号線は、今回の整備区間は完了したが、交通利便性の向上に対しては、計画路線全線の整備が必要である。</li> <li>駅北側の交通環境は、改善されていない。</li> <li>地下式調整池の容量は、将来計画の半分程度で、被害は軽減したとはいえ、十分ではない。</li> <li>整備に伴う新たな交通の流れを把握し、必要な安全性を確保できる整備が必要である。</li> <li>道路施設の整備にとどまらず、ソフト施策による安心・安全性を確保する必要がある。</li> <li>駅前広場が整備されたことにより、確保された交流拠点、にぎわい空間について、維持管理や有効活用のためのソフト施策が必要である。</li> <li>排水路の暗渠化により、臭気が集中しているため、対策を講じる必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下式調整池については、日常の目視では施設の状態を確認できないことから、定期的に適切な維持管理を推進する。</li> <li>市道木田164号線や駅前広場等に設置した植栽等については、駅前としての景観や道路沿道環境の維持・向上のために、地域住民等との協働のもと適切な維持管理を推進する。</li> <li>市道木田164号線については、駅へのアクセス性の向上をさせるために、継続して延伸整備を推進する。また、その他の駅周辺道路についても、円滑な駅アクセスのための整備を検討する。</li> <li>今回の整備では、木田排水基本計画に基づき、地下式調整池を設置したが、木田郷南土地区画整理事業による調整池の設置計画など、木田排水基本計画策定時と状況の変化が見られている。これらの状況を踏まえて、木田排水基本計画の見直しを行い、地下式調整池の効率的な運用、拡張等を検討する。</li> <li>木田駅の南改札口の開設、今回の道路整備等に伴う新たな交通の流れを把握し、市道木田164号線の延伸に伴う交通需要を予測し、自動車、自転車、歩行者の安全を確保するための施策を検討する。</li> <li>駅前広場が整備されたことにより、ひとが集い交流できるにぎわい空間及び交流拠点として、地域住民と協働で活性化策を検討する。</li> <li>ひとが集い、交流できる空間とするために必要な施設を検討する。</li> <li>排水路の臭い対策として、早期に公共下水道が供用開始できるように整備を進める。</li> <li>快適で安全な生活環境を確保するために、交番の設置や防犯カメラの活用、防犯灯や街路灯の整備を検討する。</li> </ul>